

ホモ・ファブールの断片

— 人ともものづくりの未来 —

2022年7月16日「土」

10月2日「日」

愛知県陶磁美術館

The Fragments of Homo Faber

- the Future of Humans and Crafting -

July 16, 2022 – October 2, 2022

Aichi Prefectural Ceramic Museum

開館時間 / Opening Hours

9:30 ~ 17:00 ※7月16日(土)は開会式のため、本館の観覧は11:00からとなります。

(入館は16:30まで / Tickets available until 30 minutes before closing)

月曜日、7月19日、9月20日 / Mondays, 19 July, 20 September

(7月18日、9月19日は開館 / except 18 July, 19 September)

休館日 / Closed

観覧料 / Admission

一般900円(720円) / 高校・大学生700円(560円) / 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金です。

Adults: 900 yen / University & high school students: 700 yen / Junior high school & younger: free

※上記観覧料で本館常設展もご覧いただけます。

※各種割引制度については公式WEBページでご確認またはお問い合わせください。

主催 愛知県陶磁美術館 中日新聞社

助成 一般社団法人地域創造 公益財団法人アイスタイル芸術スポーツ振興財団

後援 愛知県教育委員会 愛知高速交通株式会社(リニモ) 協力 株式会社エクシズ 杉浦製陶株式会社



AICHI
PREFECTURAL
CERAMIC
MUSEUM

ホモ・ファーベルの断片

一人とものづくりの未来

2022年7月16日[土] — 10月2日[日]

愛知県陶磁美術館 本館・南館・古窯館・芝生広場

フランスの哲学者アンリ＝ルイ・ベルクソンは、道具のための道具を製作すること、あるいは道具を変化させていく能力（創造性）が人の知性の本質であるとして、創造性をもつ人を「ホモ・ファーベル（工作人）」と定義しました。

やきものはその原初をたどれば、人が知性の本質に従って創造した道具であり、今なお人の営みにあわせてつくり続けられています。当館が位置する東海地域では、豊富な天然資源をもとめて人々が集い、ありとあらゆるやきものがつくり出されてきました。なかでも現代陶芸は、作り手の自由な意思にもとづく造形として展開され、時代を映す多様なあり方を示していることから、「ホモ・ファーベルの断片」として捉えることができます。

本展では人の創造性をテーマに、創造の前提となる「素材」、培われてきた「技」、形成されてきた「場」に焦点を当てます。この3つの観点から、当地域の現代陶芸を紹介し、人とのづくりの関係性を再考します。

なお、本展は本県の誇る歴史、地場産業、伝統文化の再発見をコンセプトの一つに掲げている国際芸術祭「あいち 2022」と同時期に開催し、連携イベント等を行うことで、この地域の陶磁文化を国内外に発信していきます。

◇参加作家 (五十音順 敬称略)

| | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 安藤 正子 | 伊藤 雅風 | 伊藤 慶二 | 伊藤 秀人 | 井戸 真伸 | 岩村 達 |
| 植松 永次 | 内田 綱一 | 小形 こず恵 | 奥 直子 | 加藤 清之 | 加藤 孝造 |
| 川田 知志 | 桑田 卓郎 | 酒井 智也 | 柴田 真理子 | 清水 潤 | 鈴木 藏 |
| 鈴木 徹 | 田上 知之介 | 田中 陽子 | 田中 良和 | 樽田 裕史 | 戸田 守宣 |
| 長江 重和 | 中田 ナオト | 林 恭助 | 前田 正剛 | 松永 圭太 | 松藤 孝一 |
| 水野 教雄 | 森 克徳 | 山浦 陽介 | 横田 典子 | 吉川 正道 | 渡邊 太一郎 |

◇関連プログラム

◆記念シンポジウム

パネラー

片岡 真実氏 (森美術館館長/国際芸術祭「あいち 2022」芸術監督)
内田 綱一氏 (陶芸家/造形作家/アートディレクター 本展参加作家)
佐藤 一信 (愛知県陶磁美術館館長)

日時: 7月16日(土) 午後1時~2時30分

場所: 本館地下1階講堂

参加費: 無料 定員: 100名 (事前申込不要・先着順)

◆ワークショップ「かたちに描くー陶板×フレスコ画ー」

出演講師

川田 知志氏 (美術作家 本展参加作家)

場所: 陶芸館

定員: 15名 (事前申込要、両日参加できる方のみ。)

①レクチャー&陶板づくり

日時: 7月31日(日) 午後1時30分~3時30分

②漆喰塗り&描画

日時: 8月21日(日) 午前10時~12時、午後1時30分~3時30分

<申込方法・参加費・注意事項などの詳細は当館公式WEBページをご確認ください。>

→その他、アーティストトークやラーニング・プログラムなど開催予定。

詳細は当館公式WEBページをご確認ください。



《Untitled》桑田 卓郎 2016 ©Takuro Kuwata



《霧染鉢「酔芙蓉」》小形 こず恵 2019 写真: 大石 智久



《湊旅行》川田 知志 2015 提供: 神戸アートビレッジセンター 写真: 松見 拓也 (今回は展示なし)

◇次回展覧会のお知らせ

特別展「平安のやきもの—その姿、うつろいゆく」
10月29日(土)~2023年1月15日(日)

◇近隣施設の展覧会情報

▼瀬戸市美術館 0561-84-1093
企画展「瀬戸市・天草市交流連携協定締結記念
加藤民吉の真実—天草における九州修業—」
8月6日(土)~9月11日(日)

▼瀬戸蔵ミュージアム 0561-97-1190
企画展「本業敷瓦一和製タイルの先駆—」
8月13日(土)~11月20日(日)

▼瀬戸染付工芸館 0561-89-6001
企画展「瀬戸染付の時代Ⅱ「紋様を纏う器たち—鳳凰と龍—」
7月2日(土)~9月25日(日)

▼瀬戸市新世紀工芸館 0561-97-1001
企画展「73 中田ナオト 松藤孝一」
6月25日(土)~9月19日(月・祝)

■国際芸術祭「あいち 2022」
7月30日(土)~10月10日(月・祝)
情報はこちら <https://aichitriennale.jp/>



The Fragments of Homo Faber
- the Future of Humans and Crafting -
July 16, 2022 - October 2, 2022



アクセス / Access

- リニモ 「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
- 名鉄瀬戸線 「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から & 名鉄バス 「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝日のみ)
- 自家用車 駐車場無料(250台収容、大型バス9台収容)

愛知県陶磁美術館 / Aichi Prefectural Ceramic Museum
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL: 0561-84-7474 FAX: 0561-84-4932
<https://www.pref.aichi.jp/touji>



割引引換券 100円割引

一般: 900円 → 800円
高校・大学生 700円 → 600円
本券1枚につき1名、上記料金で観覧頂けます。他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般: 900円 → 800円
高校・大学生 700円 → 600円
本券1枚につき1名、上記料金で観覧頂けます。他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般: 900円 → 800円
高校・大学生 700円 → 600円
本券1枚につき1名、上記料金で観覧頂けます。他の割引とは併用できません。